

◎消防施設の経費

消防施設整備事業	【 消防総務課 】
-----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
 地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民及び消防職員等

意図 市内に配置されている、消防署所から特に遠距離にある地域の防火防災体制及び水利弱
 体地域の強化等を図ると共に、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。

効果 災害を最小限に抑え、救命率の向上を図り、より快適、安全で安心して暮らせるまちづくりを図
 る。

【事業の内容】

- (1) 消防施設整備事業
 - ・ (仮称)七里ガ浜出張所用地を取得した。
 - ・ 消防本部庁舎に個別エアコンを設置した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

消防署所の総合的整備・充実(5-1-4-①)
 消防本部庁舎の改修(5-1-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
121,541	124,305	123,500		805

主な支出内訳

・ 消防施設整備事業	
(仮称)七里ガ浜出張所用地に係る不動産鑑定評価委託料	420
(仮称)七里ガ浜出張所用地購入費	102,920
消防本部庁舎個別エアコン購入費	17,094
(仮称)七里ガ浜出張所用地測量負担金	767

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 消防-06 消防施設整備事業						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	237 消防施設整備事業					
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	消防施設の充実						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	123,500千円	0千円	60,840千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	123,500千円	0千円	60,840千円			
	人員配置数	1.0人	0.0人	4.0人			
	人 件 費	9,391千円	0千円	38,655千円			
事務事業 運営経費	総事業費	132,891千円	0千円	99,495円			
	市民1人当 りの経費	753円	0円	568円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・消防本部設置のヒートポンプ及び空調設備の老朽化が激しく、冷暖房機能が低下し、職員の健康管理上の問題点や環境面を考慮し、導入の検討をした。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・個別の空調設備を導入したことにより、職員の健康管理面や光熱水費面で、以前より良い結果に改善した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・他の庁舎においても、ヒートポンプ設備の老朽化が激しい対象があるため、本部庁舎同様、整備していきたい。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 業務の再点検を行い、見直しを図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性
	改善の必要がある庁舎については、早期に実施したい。				無
担当課長氏名:		堀 英彦			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性
	今後も、可能な限り、消防施設の整備を図りたい。				無
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則		